



岐阜県感染症発生動向調査週報

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

令和2年7月3日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

2020年第26週
(6/22~6/28)

<情報編>

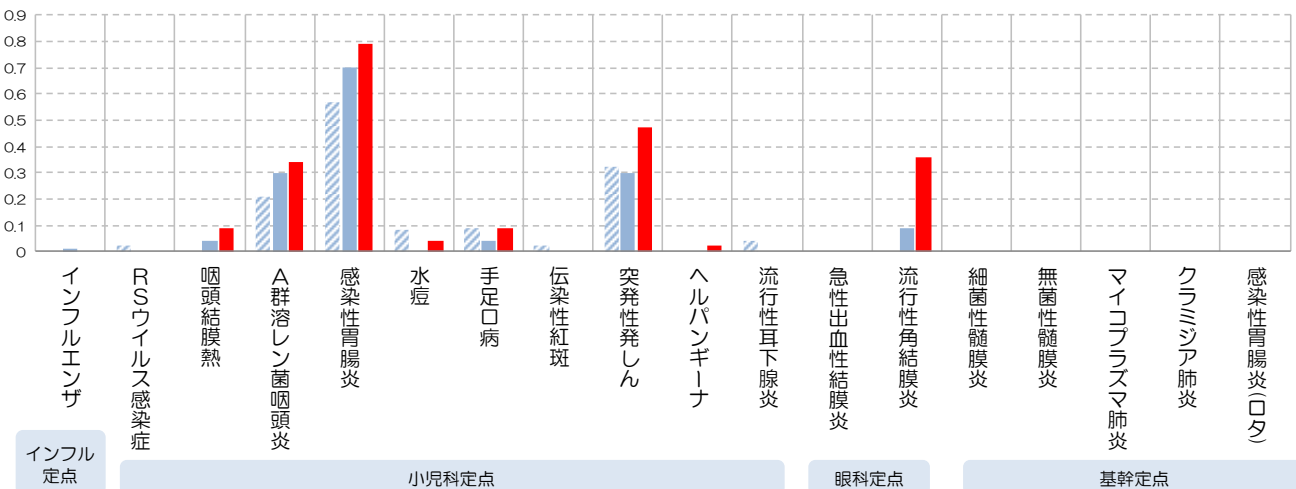
今週の主な動向

○令和2年7月1日に県内157例目、翌7月2日に県内158から160例目の新型コロナウイルス感染症陽性確定者が確認されました（7月2日現在）。新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言は全面解除されましたが、これまでの対策を一気に緩めることなく、密閉・密集・密接の条件を避けるなど、日常生活での取組みを継続することが重要です（下記参照）。

定点把握対象疾患

<インフルエンザ定点：87か所、小児科定点：53か所、眼科定点：11か所、基幹定点：5か所>

● 直近3週の推移



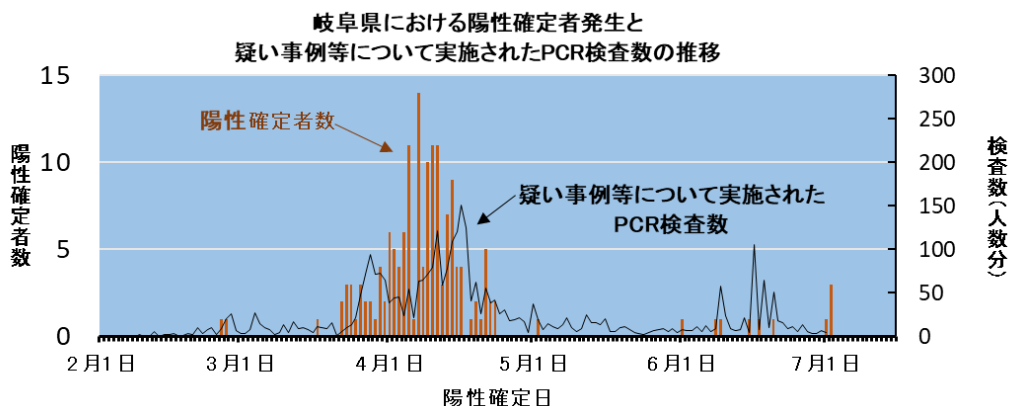
全数把握対象疾患

● 新規報告分

- 1類感染症：なし
- 2類感染症：結核 14例
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1例
- 4類感染症：レジオネラ症 4例
- 5類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1例、後天性免疫不全症候群 3例、梅毒 1例、播種性クリプトコックス症 1例
- 指定感染症：なし（6/22~6/28(陽性確定日による集計)）

トピック：新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症について、県内で確認された160症例の発生と、疑い事例等について実施されたPCR検査数の推移をグラフ化すると下記ようになります。（7月2日現在のデータによる）。



<情報編>

新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言は全面解除されましたが、疑似症の PCR 検査は引き続き実施されています。また7月1日に県内157例目、7月2日には県内158から160例目の陽性確定者が確認されており、感染再燃の可能性が捨てきれない状態です。感染者数が少なくなったことで対策を一気に緩めると、これまでの努力が水泡に帰すおそれがあります。感染拡大の第2波を予防するため、引き続き県民のみなさまには日々の生活での感染防止対策に努めていただくことをお願いいたします。

(参考) 岐阜県 HP「新型コロナウイルス感染症【県内の感染動向】について」

https://www.pref.gifu.lg.jp/kinkyu-juyo-joho/shingata_corona_kansendoko.html

(参考) 岐阜県 HP「緊急事態宣言全面解除に係る岐阜県の対応について」

<https://www.pref.gifu.lg.jp/kinkyu-juyo-joho/gifu-kinkyu-sochi.html>

※ 感染予防と感染拡大防止のための対策として、手洗い、咳エチケットを徹底しましょう。発熱や咳などの症状がある場合は外出を控え、また日常においても不要不急の外出は控えましょう。

これまでのデータから、集団感染が起こりやすいのは以下の条件がそろった時との報告がされています。

1. 密閉空間（換気の悪い密閉空間である）
2. 密集場所（多くの人が密集している）
3. 密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）

このことから、感染のリスクを低減させるためには、これら3つの密が重なる条件（3密）を避けることが重要です。

※2020年5月4日、新型コロナウイルス感染症専門家会議からの提言を踏まえ、厚生労働省は感染拡大の第2波を予防しつつ日常生活を送るために取り入れていただきたい「新しい生活様式」の実践例を公表しました。（「新しい生活様式」について詳しくはこちらをご確認ください）

- ・「新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を公表しました（2020年5月4日）」厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html